

鳥から乳牛を守る！

牛舎などの施設には、鳥害を防ぐためのさまざまな工夫が施されています。また、市販のものもたくさん出ています。今回は、普及センターでとりまとめた事例を紹介합니다。

牛舎でよく見られる鳥は？

やはりいちばんはカラスです。カラスには、「ハシボンガラス（写真右）」と「ハシブトガラス（同左）」の2種類あります。カラスは、大きめの林に集まり、枝に止まって眠ります。近くに林が多いところで、カラスは多く見られるようです。他に、ハトやスズメもよく見られます。

鳥は、軒、窓、カーテンのすき間などから入り、エサや後産を食べたり、育成牛にいたずらしたりします。



防止対策

テグス利用タイプ

テグスを利用したのれんを作り、牛舎入口にたらすというやり方で効果を見ました。

<材料>

- ・太ひも
- ・テグス（釣り用、または鳥よけ専用）
一巻き ¥2,000～3,000程度

<作成方法>

- ・丈夫な太ひもを横に張り、20～30cm間隔で3mほど（牛舎入口の高さ位）に切ったテグスを結んでいき、のれんを作る。それを牛舎入口の上に取り付け、吊り下げる。



長所

- 機械や人の移動が制限されない（出入り自由）
- 取り付けはそんなに危険ではない

短所

- 風におおられて、からむこともある
- また、いったんからむと、ほどけにくい

効果

- ・カラスは、警戒心が強いので、設置している最中および設置直後は、ほとんど寄り付かなかった。しかし、人がいなくなり、また強風や機械などからんでちぎれると効果はなくなる。

<テグスを利用した他の鳥害防止事例>

- ① テグスをバンカーサイロの上に張り巡らし、シートが破られないようにする
- ② ネットレイルの上に鳥がとまって糞を落としたり、飼槽を汚すことのないように、テグスを数本、横に張る

テグスを利用した鳥害防止事例（②の場合）

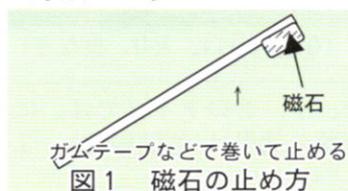


磁石利用タイプ

磁石は、鳥の平衡感覚を失わせるとの事から、効果があるのではないかと考えました。棒に磁石を取り付けて設置する、簡単な方法です。

<材料>

- ・永久棒磁石（牛に飲ませるもの）
1個 ¥1,000程度
- ・棒（しなるもので、1.5m程度）
- ・吊るす場合は、テグスなどが必要



<作成方法>

- 棒の先に磁石をガムテープで巻きつける、またはテグスなどで棒と磁石をつなぐ。それを軒に吊り下げたり、牛舎やハッチなどのまわりに立てておく。場所に応じて使い分ける。

長所 ○手軽にできる	短所 ○個数は多く必要になる（磁力の度合いにもよる）
----------------------	--------------------------------------

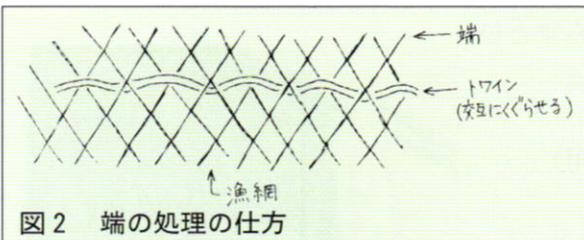
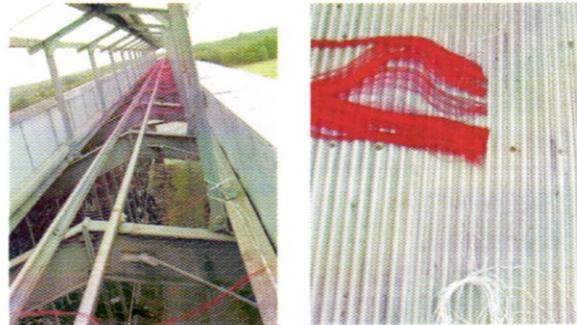
効果 ・テグスのれんと同様、妙なものがあるということで、カラスはしばらく寄ってこなかった。このタイプの場合、効果のほどは不明だが、磁力の大きさや設置する場所などによって異なると思われる。

自作網タイプ

これは、フリーストール牛舎における事例です。オープンリッジに、漁網とトワインで作成した網を張ったことで、カラスが入り込まなくなったそうです。

<材料>

- トワイン・漁網（2枚使用し、25m長さの網を4本つくって張った。1枚 ¥4,000程度）



<作成方法>

- 漁網を半分に切り、両端にトワインをとおしてつくる(図2)。この網はピンと張るのではなく、たらずことを頭に入れ幅はゆったりとること。できあがった網のトワインを、オープンリッジの端にとめていく。

長所 ○鳥が上から侵入するのを確実に阻止できる ○換気のさまたげにならない	短所 ○取り付けが大変（屋根に登っての作業） ○破れたり、壊れたりした場合の補修が難しい
--	---

効果 ・オープンリッジからの鳥の侵入はなくなった。網をたるんだ状態にすることで、鳥の足が絡まりやすくなるとのこと。網を設置してからの2ヵ月間で、ハトが4羽捕まっていた（右写真）。



こんな事例もあった！

<p>1. 芳香剤（ボール）を下げておく</p>	<p>2. カラスの死骸を吊り下げておく</p> <p>(牛舎入り口、天井、壁など)</p>	<p>3. 牛舎内上部の構造（トラスなし）</p>
--------------------------	--	---------------------------

カラスはにおいにも敏感なので、1、2のタイプでは、においを継続させるためにこまめに交換することが必要（カラスの死骸の効果は1週間程度）。3のタイプは、鳥が上に止まれないので、牛舎内からは自然に減ったとのこと。